Vol.73
2023.10
October

京都 ケアマネ・ポート

KYOTO CARE MANE PORT

Contents

2　会長就任のご挨拶
3　副会長就任のご挨拶
　令和５年度公益社団法人京都府介護支援専門員会定時総会ご報告
4　新体制で動き出しました
5　新任理事・ブロック委員の紹介（令和５年６月17日～令和７年度定時総会まで）
6　日本介護支援専門員協会の紹介（組織編）
7　企画研修「災害に備えたBCP作成研修」開催のご報告
8　事務局からのお知らせ／編集後記



会長就任のご挨拶

公益社団法人 京都府介護支援専門員会　会長　**山下 宣和**

この度、公益社団法人京都府介護支援専門員会の令和５・６年度期の会長に選任されました山下宣和です。

私自身、力不足であることはよく承知しておりますが、諸先輩や他の役員、事務局の皆様のお力を借りて、精一杯努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

介護保険制度が始まって、20年以上が経過し、介護支援専門員の認知度や期待度は年々高まっているように感じます。しかしながら、介護支援専門員の仕事の魅力は伝わっているのでしょうか。地域によっては、介護支援専門員の不足が顕著になっているところもあると聞きます。介護支援専門員の仕事は、要介護状態になった高齢者等の苦しみや不安を汲み取り、リスクの軽減、可能性を見極め、医療、介護、福祉、その他様々な人々や機関と連携し、その人らしい生活を支えていくものであって、とてもやりがいのある魅力ある仕事ではなかったでしょうか。

テレビなどで、「子どもたちが将来なりたい職業の人気ランキング」というのをみなさんご覧になられたことがありますか？最近では「ユーチューバー」なども人気があるそうです。私には、以前から夢があり、それは、「子どもたちが将来なりたい職業ランキング」に「ケアマネジャー」が入るぐらい認知され、社会的地位も認められるような職業になることを夢見ています。馬鹿らしいと思われるかも知れませんが、子どもたちに胸を張れる職業でありたいと思っています。

この会は、京都府に在住在勤の介護支援専門員で構成し、事業所はもちろん、市町村の枠を超えてつながり、さらには、近畿、日本中の介護支援専門員ともつながる組織です。一人でも多くの介護支援専門員の皆様に参加してほしいですし、要介護状態の人々やその人を支える家族の生活を支えるために頑張る介護支援専門員を応援していただきたいと願っています。

今、少子高齢化の真っ只中で、社会保障のあり方なども変化の時を迎えています。こういった時だからこそ、職業倫理、ケアマネジメントの技術をもっと高め、地域の介護の要として、医療と介護の連携のキーパーソンとして、信頼され、社会的な地位を獲得していく必要があると考えます。この会が、介護支援専門員をつなぎ、磨き合い、高めあう組織でありたいと考えています。

今後とも、皆様とともに前向きに歩んでいきましょう。お力添えをよろしくお願いいたします。

副会長就任のご挨拶

この度、副会長を拝命しました市田哲郎と申します。内科開業医で主任ケアマネでもあります。本会では2006年に理事を務めており再度の就任になります。前任の北川副会長や元会長の上原先生には遠く及びませんが、関係団体としっかり連携をとり、微力ながら介護と医療の橋渡しができるよう藻掻いていきたいと思っています。皆様のお力添えとご指導をよろしくお願い申し上げます。

（副会長　市田 哲郎）

この度、副会長を拝命しました柴田崇晴と申します。当会では中丹ブロック理事に始まり、令和５年６月まで広報委員会や災害対策委員会の担当理事として微力ながらお手伝いしてまいりました。今期から副会長という重責を担うにあたり、先輩方が築いてこられた風土や組織力をさらに発展させるべく、特に情報発信や会員間コミュニケーションに力を尽くしてまいりたいと思っています。皆様のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

（副会長　柴田 崇晴）

このたび、副会長を拝命いたしました村上晶之と申します。平素は相楽郡和束町にて居宅介護支援事業所で一人ケアマネをしております。当会に入会して以来、ブロック委員、代議員、ブロック理事、常任理事を経て、第20回近畿ブロック研究大会 in 京都では実行委員長を務めてまいりました。今期より、法定研修委員会の担当副会長となり、微力非才の身ではございますが、大任をお受けしたからには、誠心誠意、会の発展のため職務に尽力いたす覚悟でございます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

（副会長　村上 晶之）

令和５年度公益社団法人京都府介護支援専門員会 定時総会ご報告

令和５年６月17日（土）14時から、令和５年度公益社団法人京都府介護支援専門員会定時総会が開催されました。
今年度は研修センターにおいて久々の対面での開催となりました（代議員総数34名のうち、出席者17名・委任状提出者15名で、合計32名により総会は成立）。

今回は、次の８名の役員が任期満了で退任されました。井上基氏（前会長）、小林啓治氏（前副会長）、北川靖氏（前副会長）、市原郁子氏（前理事）、北川裕之氏（前理事）、中吉克則氏（前理事）、北野太朗氏（前理事）、上原春男氏（前監事）。

総会では冒頭、井上基氏（前会長）から開会の挨拶とともに、役員・事務局に対して９年にわたり尽力された会長職、執行部運営への御礼の言葉が述べられました。続いて報告事項の説明を川添チエミ副会長と小林啓治氏（前副会長）、山下宣和会長（前副会長）より行い、代議員からの質疑応答を経て、すべて原案どおり承認されました（詳細は総会資料をご確認ください）。

定時総会終了後に開催された理事選任総会では、立候補者が定員以下だったため今回無投票で選出理事が選任されました。その後の臨時理事会において、山下前副会長を新会長に選定し、新体制がスタートしました。最後に退任される役員の皆さんと新役員で集合写真をとりました。



（副会長　柴田 崇晴）

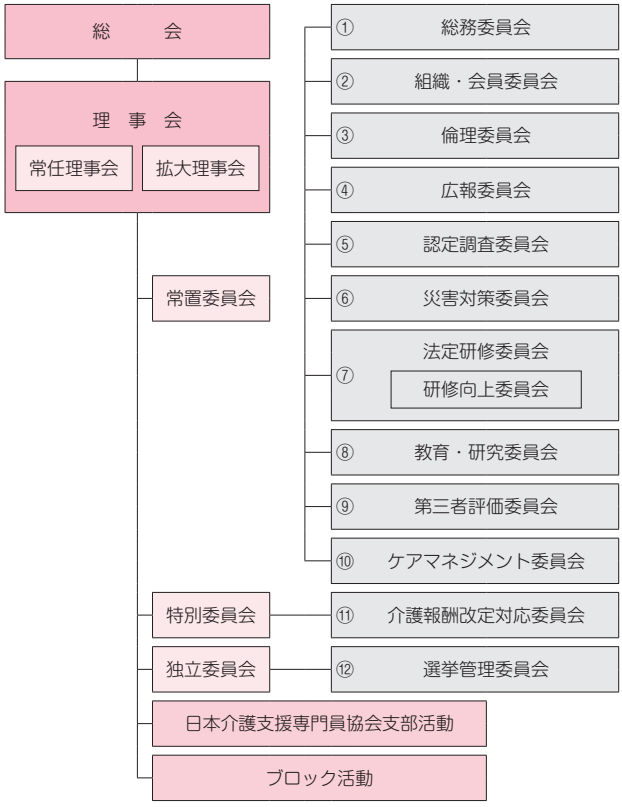
新体制で動き出しました

令和５年度
公益社団法人京都府介護支援専門員会　役員一覧
（令和５年６月17日～）

会　　長	山下　宣和
副 会 長	市田　哲郎
副 会 長	川添　チエミ
副 会 長	柴田　崇晴
副 会 長	村上　晶之
常任理事	甲田　由美子
常任理事	佐藤　弓子
常任理事	髙木　はるみ
常任理事	塚田　聡
常任理事	中平　克樹
常任理事	村上　雅代

ブロック理事	中島　義記
ブロック理事	杉山　利正
ブロック理事	酒田　智
ブロック理事	吉岡　里登美
ブロック理事	川西　政哉
ブロック理事	苅田　誠
ブロック理事	西村　聡
ブロック理事	八木　仁美
ブロック理事	桝村　雅文
ブロック理事	山川　淳
監　　事	井上　基
監　　事	木村　晴恵
顧　　問	上原　春男
顧　　問	清水　紘
顧　　問	福富　昌城
顧　　問	宮坂　佳紀
特任理事	13名

組織図



委員会一覧

委員会名	所管事項	担当理事
常置委員会		
総務委員会	定款、規程、規約、細則に関すること。 他の委員会の所管に属さない事項に関すること。 日本協会との一本化に関すること 日本協会支部活動に関すること。	市田　哲郎 川添　チエミ 柴田　崇晴 村上　晶之
組織・会員委員会	会員組織率の向上・強化に関すること。 賛助会員の入会促進に関すること。 相談及び苦情対応に関すること。 府民公開講座に関すること。 周年記念行事に関すること。 後援団体等への参加・協力に関すること（医療推進協議会等） 市町村介護支援専門員組織に関すること。 ブロックに関すること。	塚田　聡 中島　義記 杉山　利正 酒田　智 吉岡　里登美 川西　政哉 苅田　誠 西村　聡 八木　仁美 桝村　雅文 山川　淳
京都市介護サービス事業者等連絡会開催支援事業	京都市介護サービス事業者等連絡会開催支援事業に関すること	塚田　聡 京都市理事
倫理委員会	日本協会倫理綱領・行動規範に関すること。 会員の倫理違反に関すること。 表彰・懲戒に関すること。	村上　雅代 甲田　由美子
広報委員会	本会の広報に関すること。 他団体等からの広報依頼に関すること。 機関誌等の刊行物・メールマガジンの発行、ホームページやSNS等の更新に関すること。 出版物の企画・編集・編纂に関すること。 刊行物の推薦及び斡旋に関すること。	佐藤　弓子 中島　義記 桝村　雅文 西村　聡
認定調査委員会	事務受託法人としての業務執行に関すること。 認定調査員への各種研修に関すること。 介護認定審査会委員に関すること。	甲田　由美子 苅田　誠 吉岡　里登美
災害対策委員会	介護支援専門員が関わる災害対策に関すること。 BCP（自然災害・感染症）に関すること。 個別避難計画に関すること。 京都DWATに関すること。	中平　克樹 杉山　利正 八木　仁美
法定研修委員会	法定研修全体の統括及び調整に関すること。 実務研修に関すること。 再研修に関すること。 専門研修課程Ⅰに関すること。 専門研修課程Ⅱに関すること。 主任介護支援専門員研修に関すること。 主任介護支援専門員更新研修に関すること。 講師登録及び講師の資質向上に関すること。	高木　はるみ 中平　克樹 八木　仁美 佐藤　弓子 村上　雅代
研修向上委員会	研修向上（研修及び講師の評価並びに質向上）に関すること。	福富　昌城 河合　悟 藤本　昌人
教育・研究委員会	企画研修に関すること。 法定研修以外の研修に関すること。（行政・他団体等からの受託研修を含む） 調査及び研究に関すること。 京都研究大会に関すること。 近畿ブロック研究大会に関すること。	甲田　由美子 酒田　智 桝村　雅文
第三者評価委員会	第三者評価（調査・審査等）に関すること。 京都 介護・福祉サービス第三者評価等支援機構に関すること。	塚田　聡 中島　義記 酒田　智
ケアマネジメント委員会	運営基準に沿った適切かつ標準的なケアマネジメントの検討。 保険者が実施する「ケアプラン点検」に対する支援の企画・提案・運営等に関すること。	山川　淳 杉山　利正 川西　政哉
特別委員会		
介護報酬改定対応委員会	介護報酬改定説明会に関すること。	中平　克樹 佐藤　弓子 村上　雅代 山川　淳
独立委員会		
選挙管理委員会	理事選挙管理規程における選挙管理委員会に関すること。	

新任理事・ブロック委員の紹介（令和5年6月17日～令和7年度定時総会まで）

この度、ブロック理事に就任しました杉山利正と申します。普段は福知山市の日新地域包括支援センターで勤務しています。地域の皆様や各事業所の皆様と悪戦苦闘の毎日です。しかしながら、仲間と苦労を共にし、乗り越えられた時には喜びを分かち合える、そんな仕事も悪くはないなと思っているのも事実です。これから、理事の皆様とも切磋琢磨しながら少しでも皆様に追いつき追い越せるよう自身を高めていきたいと思っています。よろしくお願いします。

（中丹ブロック理事　杉山 利正）

今年度から丹後ブロック理事に就任いたしました中島義記と申します。

与謝郡福祉会（伊根町、与謝野町）に所属しております。

丹後ブロックの理事が、平成 26 年より不在となっており、大変ご迷惑をお掛けしてきましたが、丹後ブロックの代表として、微力ではございますが丹後の介護支援専門員の忌憚ない意見を理事会等に伝え、反映されるようにお手伝いしていきたいと考えております。

（丹後ブロック理事　中島 義記）

今年度から山城ブロック理事を拝命することになりました桝村雅文と申します。京都認知症総合センターにおいて認知症初期の方の支援を主な役割として担う中で、認知症とともに生きる旅路において、介護支援専門員が大きな「支え」になることを改めて実感すると同時に、介護支援専門員や専門職にも「支え」が必要であると感じており、当会の活動が更に広がるよう微力ながら努力できればと思います。

（山城ブロック理事　桝村 雅文）

ブロック	ブロック理事	氏　名	所　属
丹後（宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町）	中島　義記	城下　直子　△	京丹後市地域地域包括支援センター
		東　さゆり	丸梅
		依田　久子	総合老人福祉施設 弥栄はごろも苑
		林　恵	居宅介護支援サービス花ちゃん
		中垣　直美	夕凪の里居宅介護支援事業所
		角田　恵美	なぎさ苑居宅介護支援事業所
		田茂井　久美子 ◎	与謝の園居宅介護支援事業所
		小巻　和代	与謝の園居宅介護支援事業所
中丹（福知山市・舞鶴市・綾部市）	杉山　利正	南　京美	居宅介護支援事業所さくら苑
		宮谷　雅子	京都生協福祉事業部福知山ホームヘルプサービスセンター
		シュレスタ　加奈子　△	株式会社栄光サービスセンター
		畠山　順代　◎	中舞鶴地域包括支援センター
		樋口　夏海	居宅介護支援事業所ひまわり
		山口　万紀　○	綾部市社会福祉協議会
		木村　聡子	綾部東部在宅介護支援センター
中部（亀岡市・南丹市・京丹波町）	酒田　智	西村　篤　◎	亀岡あゆみ居宅介護支援事業所
		横田　知之　○	医療法人社団飯野小児科内科医院
		藤岡　嗣朗	藤岡五ヶ荘診療所
		市原　郁子	居宅介護支援事業所ふぁいと
		樹山　紀代	はぎの里ケアプランセンター
		吉田　桂子　△	ほほえみおおい居宅介護支援事業所
		清水　久恵	ケアプランセンター手とて
		野邊　薫	医療法人社団董会園部病院居宅介護支援事業所
		小森　佳子	グループホームわたしの親元
京都市北東（北区・左京区）	川西　政哉	近藤　和美	支援センターひなたぼっこ
		渡辺　秀伸　◎	京都福祉サービス協会紫野
		浅井　雅久	what's up
		大仲　晴美	京都市大原地域包括支援センター
		布施　美幸　○	居宅介護支援事業所恵
		細見　和代　△	医療法人三幸会ケアサポートセンター宝ヶ池
京都市北西（上京区・中京区・右京区）	吉岡　里登美	奥田　菜穂　◎	十四軒町の家小規模多機能ホーム
		武藤　波美子	京都市本能地域包括支援センター
		出嶋　玄子　△	医療法人トキワ会居宅介護支援事業所リーベン嵯峨野
		米田　悦子	健光園あらしやまケアプランセンター
		森口　育彦　○	ステーションイルカ

ブロック	ブロック理事	氏　名	所　属
京都市南東（東山区・下京区・山科区）	苅田　誠	青山　里恵	アサヒサンクリーンケアプランセンター京都東山
		小河　容子　○	有限会社エス・ワイ貞教居宅介護支援事業所
		粂田　大輔　△	医療法人財団康生会武田病院
		山田　有紀	ふくなかま居宅介護支援センター
		山本　喜則　◎	居宅介護支援事業所笑心
京都市南西（南区・伏見区・西京区）	西村　聡	吉田　典子　○	なぎさケアプランセンター
		石井　勇亮	居宅介護支援事業所ビハーラ十条
		岩城　誠香	吉祥院老人デイサービスセンター居宅介護支援事業所
		川内　充	京都市醍醐・北部地域包括支援センター
		中藤　正一	ももやまケアプランセンター
		小林　友恵	京都市深草・北部地域包括支援センター
		木村　みほ　◎	居宅介護支援事業所アイライフ
		木村　眞澄	小規模多機能型居宅介護たのしい家醍醐
		植田　真一郎	居宅介護支援事業所青い鳥
		福田　信美	介護老人保健施設深草京しみず
		長澤　圭祐	居宅介護支援センターまごのて伏見
		澤田　千浩　△	居宅介護支援事業所オーバル
		髙橋　あづさ	ケアプランセンター大枝美郷
		小島　真弓	西山寮介護支援センター
		山岸　敦	京都市西京・南部地域包括支援センター
乙訓（向日市・長岡京市・大山崎町）	八木　仁美	木村　絹代　△	向日市北地域包括支援センター
		高田　恵里佳　○	社会福祉法人長岡京市社会福祉協議会きりしま苑
		濵田　咲子　◎	社会福祉法人大山崎町社会福祉協議会
		二俣　優子	社会福祉法人大山崎町社会福祉協議会
山城（宇治市・城陽市・八幡市・京田辺市・久御山町・井手町・宇治田原）	桝村　雅文	澤井　由実　○	東宇治北地域包括支援センター
		舩越　万紀	居宅介護支援友愛
		林　扶仁子	京都八勝館居宅介護支援事業所
		北野　太朗　◎	有智の郷ケアマネージメントセンター
		松尾　洋	ＪＡ京都やましろ介護サービスセンター
		植村　早織　△	医療法人啓信会ケアプランセンターリエゾン久御山ひしの里
相楽（木津川市・笠置町・和束町・精華町・南山城村）	山川　淳	田邊　伸良　◎	つかさ社会福祉士事務所
		平島　淳司　○	ソーシャル・サポートきづがわ
		早川　幸代	社会福祉法人木津川市社会福祉協議会ケアセンターハッピーコスモス居宅介護支援事業所
		小島　みゆき　△	笠置町指定居宅介護支援事業所
		稲塚　功	和楽会居宅介護支援事業所
		西林　亜希	精華町北部地域包括支援センター
		絹谷　直樹	医療法人竹澤内科小児科医院居宅介護支援事業所

◎は委員長、○は副委員長、△は会計を表す。

日本介護支援専門員協会の紹介（組織編）

日本介護支援専門員協会をご存知でしょうか。日本介護支援専門員協会（以下「日本協会」という。）は、全国に46支部を置き、約３万4000人の会員で構成する、介護支援専門員の全国組織です。京都府介護支援専門員会も、日本協会京都府支部（支部長：山下宣和）としての役割をもち、日本協会と連携し、介護支援専門員の資質向上と地位の確立などに向けた事業を進めています。

とりわけ、法改正や報酬改定の時期には、介護給付費分科会などの重要な会議に日本協会のメンバーが出席し、介護支援専門員の立場で意見を述べることができるのは、私たちにとって大変重要なことといえるでしょう。



現在、京都府介護支援専門員会においては、日本協会への入会は任意となっていますが、今後、日本協会との連携をより強くするために、本会の会員の皆さまが日本協会に一人でも多く加入していただくことが重要だと考えています。まだ日本協会に未加入の方は、ぜひ入会をご検討いただきますようお願いいたします。

【一般社団法人日本介護支援専門員協会】

会　長：柴口里則（しばぐち　さとのり）
所在地：〒101-0052　東京都千代田区神田小川町1-11
　　金子ビル２階
電　話：03-3518-0777　FAX：03-3518-0778

●目的及び事業（日本協会定款より抜粋）

（目的）
第３条　当法人は、都道府県単位の個人を会員とする介護支援専門員組織と連携し、公正・中立なケアマネジメントを確立し、介護支援専門員の資質および社会的地位の向上に努めることをもって、国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。この目的を達成するために次の事業を行う。

（１）高齢者の福祉の増進を目的とする下記の事業
　① 介護支援専門員の職能の向上に関する事業
　② 介護支援専門員が必要とする情報の提供に関する事業
　③ 社会保障制度全体及び介護支援専門員に係る調査研究事業
（２）介護保険制度の普及啓発に関する事業
（３）一般消費者の利益の擁護又は増進を目的とする事業
（４）公衆衛生の向上を目的とする事業
（５）学術及び科学技術の振興を目的とする事業
（６）地域社会の健全な発展を目的とする事業
（７）障害者若しくは生活困窮者又は事故、災害若しくは犯罪による被害者の支援を目的とする事業
（８）人種、性別その他の事由による不当な差別又は偏見の防止及び根絶を目的とする事業
（９）国際交流・貢献を目的とした事業
（10）前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

●会員

正 会 員：介護保険法（平成９年法律第123号）第７条第５項に規定する介護支援専門員、又は第69条の２第１項に規定する介護支援専門員の登録を受けている者のいずれかであって、当法人の目的及び事業に賛同して入会した者
入 会 金：１，０００円、年額会費５，０００円
入会方法：京都府介護支援専門員会事務局にお問合せの上、所定の入会申込書をお送りください。

（会長　山下 宣和）

企画研修「災害に備えたBCP作成研修」開催のご報告

令和５年５月27日14:00～16:30まで当会研修センターにて BCP 作成をテーマに企画研修をおこないました。当会の災害対策委員会が企画･運営した今回の研修は、早い時期から申込があり定員の40名を60名に拡大して開催しました。

令和６年４月に義務化される BCP 策定は、実務を抱えるケアマネジャーにとって「分かってはいるけど手つかず」の気になる宿題かと思います。昨年の11月に災害対策委員会内で居宅介護支援事業所を想定しBCPを作成しましたが、計画として作成する苦労を委員自身も体験しました。

前半の講義では、作成のポイントについてシミュレーションの課題を踏まえて紹介しました。着眼点や記載例文などを紹介し、少しでも作成の足掛かりになればという内容です。

後半の演習は、災害が起こった際のイメージがより湧きやすいように机上訓練をグループごとに実施し、被災した時間経過にそった対応を考えました。

７月15日には丹後ブロックでも同様のプログラムで研修を実施しています。BCPを作る上で「書き方が分からない」や「計画の具体性に乏しい」といった課題はどの会場も同じで、やはり少しでも言語化・見える化しながら、まずは輪郭を作るしかないというのが率直な感想のようです。



アンケートでいただいた参加者の声を一部紹介します。

- ケアマネとしてその時にどう動くのかを事業所職員に周知しておくことの必要性を学びました。
- 利用者優先で考えていましたが、まずは自分自身、家族の安否と講師の方が言われ目からうろこでした
- BCP作成において、初めから完成を目指さなくても良く事業者で訓練を繰り返し作り上げて行くと言う事と、実際皆で訓練する事が重要である事が理解出来ました。
- 発災直後、数時間後、数日後によってできることが当然違ってくる。そのシミュレーションができたのがよかった。
- BCP作成のポイントは、コンパクトにまとめて頂いているので、幾つかの研修での資料で一番わかりやすかったです。講師の方が、考えるより、まずはBCPを作成し徐々に完成度を上げれば良いとの話しに少し安心しました。

災害対策やBCP研修は演習やグループ討議など「参加型」でおこなうことが、より研修の充実度を高めると感じています。その理由は知識や情報をインプットするだけにとどまらず、自分の身を被災時に置き換えてアウトプットすることで、「非常時には何もできない」という重大かつ深刻な気付きがお土産になるからではないでしょうか。



今後も災害対策委員会では、ブロックや地域単位で災害やBCP 研修への講師派遣をおこなっています。規模や内容に応じて研修プログラムを作成しますので、お気軽にお問い合わせください。

なお、研修終了アンケートにていただいた質問につきましては、ホームページの研修情報ページまたはブロック情報ページにて回答を掲載しています。そちらもご覧ください。

（副会長　柴田 崇晴）

事務局からのお知らせ

■ 口座振替手続きのお願い

会費のお支払いは口座振替をお願いしております。手続きがお済みでない会員様で口座振替をご希望される場合は、事務局へご連絡ください。

■ 会員情報の更新について

現在ご登録いただいている会員情報（氏名・住所・電話番号・メールアドレス・勤務先等）に変更がある場合は、同封の異動届をご提出ください。当会ホームページの入力フォーム（http://www.kyotocm.jp/contents/transfer/）からの送信も可能です。

なお、本年度で退会をされる場合は、手続きの都合上1月末までに退会届のご提出をお願いいたします。

住所・氏名・勤務先等の異動届

■ メールマガジンのご案内

メールマガジンは介護保険や医療保険の制度関連の最新情報のほか、当会が実施する企画研修の案内や介護支援専門員にとって必要な情報が満載です。当会ホームページ「メールマガジン申込フォーム」からお申込み、または「mail@kyotocm.jp」宛にメールにてお申込みをお願いします。（携帯電話のメールアドレスをご登録される場合は受信拒否設定の解除、「mail@kyotocm.jp」からの受信許可設定をお願いします）

宛先　mail@kyotocm.jp
件名　メールマガジン希望
本文　会員番号／氏名／配信希望メールアドレス

編集後記

みなさまのお手元に届くころには、秋の声が聞こえる美しい季節が到来しているかと思います。毎年言われていますが、この夏も記録的猛暑でしたよね、と書いている今は大変暑い日々です。コロナの５類移行から３か月ほど過ぎましたが、今なお現場は手探りで対応を続けられていると思います。暑い中、防護服を着なくてよくなっただけでも良かったと支援の時にお聞きし、大変だったことを改めて振り返りました。この夏は初めて自分の部屋にエアコンを付けました。毎年暑い中、窓全開で寝ていたのですが年々無理だなと感じ諦めました。介護支援専門員としても個人的にも平常時に行うべきことや緊急時に過ごせる方法、手段などを取り決めておく計画、ＢＣＰのことを改めて確認することができました。

（広報委員　橋本 かおり）

京都ケアマネ・ポート73号

2023年10月1日発行
発　行　人：山下　宣和
広報委員長：中嶋　優
広 報 委 員：河東　大樹　　佐藤　弓子　　柴田　崇晴　　中島　義記　　西村　聡　　橋本　かおり　　桝村　雅文
発　行　元　公益社団法人 京都府介護支援専門員会
〒604-0874　京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町 375　京都府立総合社会福祉会館７階
TEL. 075-254-3970　FAX. 075-254-3971
E-mail:info@kyotocm.jp　　URL: http://kyotocm.jp/
京都銀行　府庁前支店　普通口座　4151049　シャ）キョウトフカイゴシエンセンモンインカイ